

# 福山都市圏における 学校TFP展開の有効性とその継続効果の検討

○ 小川 雅博 国土交通省 福山河川国道事務所  
荒木 勲 国土交通省 福山河川国道事務所  
光正 義規 広島県 東部建設事務所  
荒平 信行 福山市 建設局 都市部  
金子 俊之 福山コンサルタント 西日本事業部



環境問題について考える授業



地球温暖化実験



PCを使った行動プランづくり



CO2濃度調査



シャープ福山工場見学



パックテスト水質分析



廃油石鹸づくり



学習成果の発表



学習成果の展示



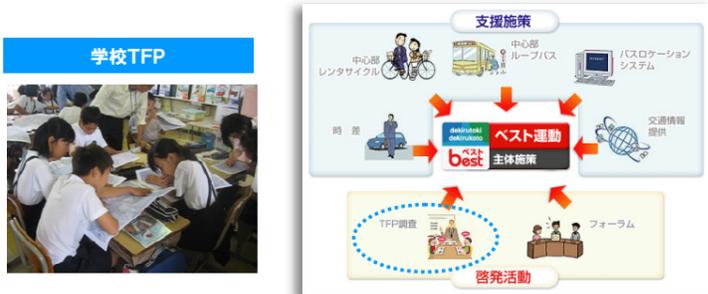
リサイクルポッドづくりの実演



メッセージカードの配布

## ベスト運動の支援施策としての学校TFP

**Bingo Environmentally Sustainable Transport**  
(備後地域における 環境に配慮した 持続可能な かしいクルマ使い方)



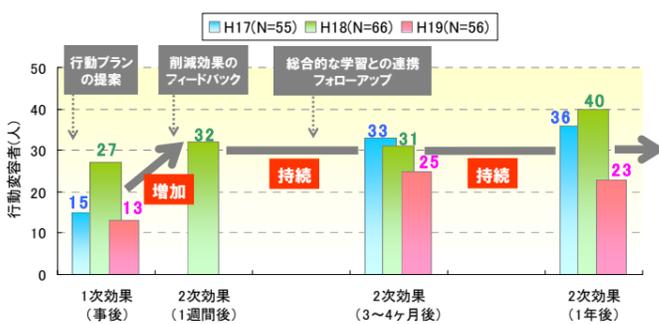
地球温暖化防止のため、習慣となっている過度なマイカー利用を見直し、家庭でのコミュニケーションを通じながら「かしいクルマの使い方」を考え、実践していくプログラム

## 児童が作成した保護者の行動プラン

保護者の氏名	年齢	性別	職業	家族構成	マイカー台数	月間走行距離	月間CO2排出量	削減目標
ア	7	男	会社員	妻1人、子2人	1台	7,100km	1,100kg	削減10%
イ	7	女	専業主婦	夫1人、子2人	1台	7,300km	1,100kg	削減10%
ウ	8	女	専業主婦	夫1人、子2人	1台	8,000km	1,200kg	削減10%
エ	8	女	専業主婦	夫1人、子2人	1台	8,100km	1,200kg	削減10%
オ	8	女	専業主婦	夫1人、子2人	1台	8,100km	1,200kg	削減10%
カ	8	女	専業主婦	夫1人、子2人	1台	8,200km	1,200kg	削減10%

現在のCO2排出量と行動プランによる削減量の提示

## 学校TFPの有効性と継続性



CO2削減効果  
・保護者の行動変化: 約40~60%以上が継続  
・行動変化によるCO2排出量: 全体で約10%~30%削減

## 市教育委員会を通じたアプローチ



定例校長会での紹介

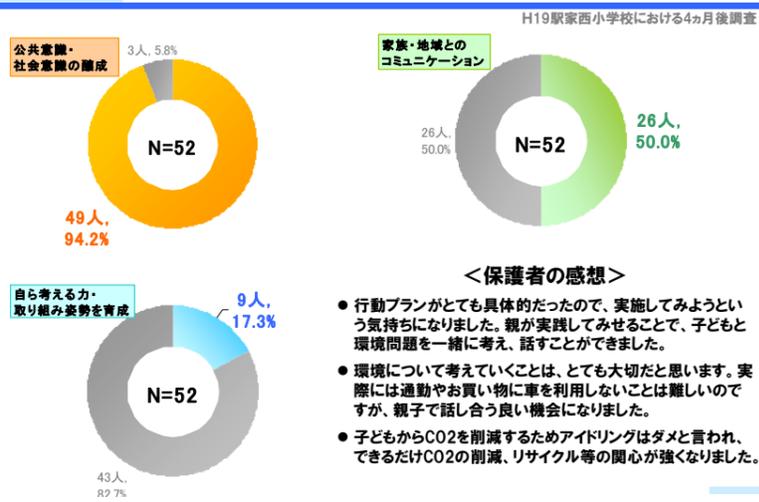
導入実績
モデル校による取組 平成17年度 1校 平成18年度 1校 平成19年度 1校
各校への展開 平成20年度 4校まで拡大

## 学校TFPのパッケージ化



## 保護者へのフィードバック

## 保護者から見た児童の変化



## まとめ

- 3年間の実践から小学校の総合的な学習に導入できる「学校TFPパッケージ」を完成
- 学校TFPが習慣となっているクルマ利用を自発的に見直してもらうきっかけとして有効  
学校TFP保護者の2~4割が行動変容、その後のフォローアップによって行動変容者は5~6割に拡大、経過1年後もそのまま継続
- 学校TFP後のフォローアップにより「公共意識、社会意識の醸成」などの教育的効果が期待できる  
総合的な学習との連携で児童の自発的な調べ学習や学校外部での発表に繋げていくことが可能
- 市教育委員会を通じて各学校への導入について提案  
⇒導入実績は現在4校まで拡大中